

2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 12 日作成)

小委員会名	地域空間情報モデリング小委員会		主 査 名：大内宏友 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	情報システム技術委員会		委員長名：三井和男
設 置 期 間	2013 年 4 月 ～ 2015 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・2013年度：各専門分野における地域空間情報の可視化方法及びモデル構築について議論し理解を深める。 ・2014年度：領域横断的な地域空間情報の可視化方法・モデル構築の可能性について議論する。 		
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無		
	主査：大内宏友 (日本大学) 幹事：山田悟史 (立命館大学) 委員：河中 俊 (国土技術政策総合研究所), 篠崎道彦 (芝浦工業大学), 田中みさ子 (大阪産業大学), 小林 隆 (東海大学), 瀧澤重志 (京都大学), 小林祐司 (大分大学), 中澤公伯 (日本大学), 大場 亨 (市川市), 藤井健史 (立命館大学), 佐藤 充 (パスコ), 江面嗣人 (岡山理科大学)		
設置 WG (WG 名：目的)			
2013 年度予算	140,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：	

項 目	自己評価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) * 能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム ・小委員会企画 OS「地域空間情報」 参加者数 12 名 『第 36 回情報・システム・利用・技術シンポジウム論文集』所収
大会研究集会	
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. 各分野の地域空間情報の可視化方法・モデル構築について理解を深めた。 2. 地域空間情報を用いて具体的な社会貢献を行った。 3. 社会にとって有用な地域空間情報について議論した。
委員会活動の問題点 ・課題	1. 各専門分野の相互理解の深化と議論の活発化 2. 領域横断的な地域空間情報の可視化とモデル構築の具体化 3. 具体的な事例研究及び社会貢献の充実化
その他	地域において生命を守るモデルとして、特に救急医療システムにおける施設適正配置の有効医療圏域のモデル化を学術論文等にて提示できた。